

民音創立60周年記念

RAYATON

ラヤトン

ジャパン・ツアー 2023



フィンランド史上最高のアカペラ・グループ、待望の再来日!

〈主な予定曲目〉バタフライ、ミス・アイノ、ドント・ストップ・ミー・ナウ(クイーン)、もののけ姫 他

※都合により曲目を一部変更する場合がございます

公演日程(2023年)

11月5日 ⑧ 3:00p.m. 北九州ソレイユホール

【入場料金】A席 ¥6,500 B席 ¥6,000 <税込>

11月6日 [月] 7:00p.m. アクロス福岡シンフォニーホール

【入場料金】A席 ¥6,500 B席 ¥6,000 C席 ¥5,500 <税込>

【主催】MIN-ON、 LOVE FM

【後援】福岡県、(公財)福岡県国際交流センター、福岡県文化団体連合会/

北九州市、北九州市教育委員会、(公財)北九州市芸術文化振興財団、北九州音楽協会、(公財)北九州国際交流協会【北九州公演】

福岡市、(公財)福岡市文化芸術振興財団、(公財)福岡よかトピア国際交流財団【福岡公演】

【福岡公演のみ】未就学のお子様については、託児サービスを行っています。チケットご購入後、11/2(木)までにお申し込みをお願い致します。

【託児料：お子様一人につき¥1,000】(株)テノ、コーポレーション フリーダイヤル ☎ 0120(8000)29 (平日9:00~18:00)

お問い合わせ

MIN-ON 北九州 093(884)1833【北九州公演】
MIN-ON 福岡 092(629)3050【福岡公演】

◎チケットのお求めは

チケットぴあ(セブン-イレブン) [Pコード:246-309]

ローソンチケット ①WEB <https://l-tike.com/>

②ローソン・ミニストップ店頭Loppi [Lコード:81805]

イープラス <https://eplus.jp/>(ファミリーマート)

北九州公演 | 北九州ソレイユホール 093(592)5408

松田楽器 093(541)1886 小倉井筒屋 093(522)2682

福岡公演

アクロス福岡チケットセンター 092(725)9112

アクロスWEBチケット <https://www.acrosticket.jp>

ラヤトン特設
ホームページ



Rajaton フィンランドを代表する美しく世界的なハーモニー

楽器を使わずに人の声だけで音楽を作っていく「アカペラ A cappella」。アカペラ自体はクラシックから現代音楽まで幅広く含みますが、その中でもとりわけ、マイクなどの音響機材を使いながら、1人1パート、かつ、3名から8名くらいの少人数で演奏されるスタイルを「コンテンポラリーアカペラ (Contemporary A cappella)」と呼んでいます。その世界的なグループのひとつが、本公演の主人公「Rajaton ラヤトン」です。

「ラヤトン Rajaton」はフィンランドを代表する、男性2名女性3名の計5名によるアカペラグループです。結成は1997年。ベースボーカルのユッシさんが、当時ロックバンドでドラマーとして活動する傍ら（びっくりですね）、合唱用の譜面を書き、それを、高校時代の合唱仲間や、別の室内合唱団のメンバーに声をかけ、一緒に歌う機会を作りました。それが Rajaton の誕生です。

「Rajaton」という名前は、英語で訳すと「Boundless (限りのない、無限の)」という意味。文字通りに、「限界を超えて垣根のない音楽世界を作っていきたい」という願いが込められています。彼らの扱う音楽はジャズやポップスのカバーからオリジナル曲、クラシック、フィンランドの民謡や民族音楽など多岐にわたります。良い音楽、演奏したい音楽をジャンルを問わず取り上げていくというのが、彼らのスタンスです。

すでに結成26年。一方で、この数年間は新型コロナウイルスの影響で音楽活動が制限されました。メンバーのソイラさんにその間の様子について話を伺いました。コンサートは中止や延期になり、ひたすら家に籠る毎日。しばらくはメンバーでさえ、直接会ったりリハーサルもしたりできなかったそうです。オンラインで一緒に歌えないか、いろんなプラットフォームを試しても「音質」や「遅延」の問題でなかなか難しかったとのこと。ただ、とりあえず、週一回のオンラインでのミーティングは継続しながら、作編曲はコンスタントに続けていました。

一方で、オンラインを活用した「音楽プロジェクト」を立ち上げて、バーチャルコンサートやファンミーティングなどを行ないました。それらの経験は、ここ最近になってコンサートを再開するにあたって、大きな成果につながっていると聞きました。今日のコンサートはその辺にも注目ですね。

さて、今回のコンサートに対する意気込みも伺いました。

「親愛なる日本の皆様の前で歌えることは本当に喜びです。ファンの方のみならず、まだ私たちのことを知らない初めての皆さまにも楽しんでいただけるような内容を考えています」

「もしかしたら、皆さまが驚くような日本語の曲も秘密のレパートリーとして歌うかもしれませんよ。楽しみにしててくださいね」

歌える喜びが溢れ出るような、そんなステージが繰り広げられることでしょう。

コロナによるいろいろな制限がひと段落し、世界的にも経済活動が元に戻りつつあります。フィンランドにおいても、徐々に音楽活動が盛んになっており、Rajaton は今回の日本ツアーのあとは、フィンランドでクリスマスツアーが続きます。そして聞くところによると、来年はシンフォニーオーケストラとのコラボレーションも復活! ABBA や Queen の曲を取り上げたプログラムが、来年フィンランドで行われる他、なんとアメリカでも行われることになっているそうです。このプログラムをぜひ日本でもできたらいいなおっしゃっていました。

日本との関わりも深い Rajaton。2005年には「愛・地球博」にてフィンランド代表として演奏。また、NHKスペシャル「世界里山紀行『フィンランド・森とともに生きる』」(2007年)、映画「森聞き」(2011年/フィンランド・オウル国際青少年映画祭招待作品)で、彼らの作品が使われています。

フィンランドの空気を感じさせる美しく透き通ったハーモニー。さあ、これから開演です。ご一緒に楽しみましょう。

【アカペラグループ The Idea of North (オーストラリア) / 観人(日本)メンバー】
北村嘉一郎



ソイラ・サリオラ
(アルト)

アハティ・パウヌ
(バリトン)

ユッシ・キューデニウス
(バス)

エッシ・ウウオレラ
(ソプラノ)

アイリ・イコネン
(ソプラノ)

Profile

1997年に名門シベリウス・アカデミーを拠点に結成された男女5人組のアカペラ・グループ。グループ名の「Rajaton (ラヤトン)」とは「無限の、限界のない」という意味。その名の通り、ジャズ、クラシック、ポップス、民族音楽まで様々なジャンルをアカペラで歌いこなす。デビューから現在までに、CDの売り上げ枚数に応じて認定される「ダブルプラチナ」を1度、「プラチナ」を3度、「ゴールド」を8度、フィンランド国内で受賞している。フィンランドのみならず全世界で年間100ステージ以上のコンサートを行い、世界規模の活躍を続けている。